

クイック スタート ガイド



Cisco WAP581 Wireless-AC/N デュアル無線アクセスポイント (2.5GbE LAN 対応)

はじめに

Cisco WAP581 Wireless-AC/N Dual Radio Wave 2 Access Point with 2.5GbE LAN をお選びいただきありがとうございます。Cisco WAP581 は、Power over Ethernet (PoE) 搭載の屋内用デュアル無線 802.11acWave2 + 802.11acWave1 アクセス ポイントです。-UL Listed I.T.E. (UL 規格認定取得済み情報技術装置) による PoE 電源供給

注 この装置は外部の設備にルーティングすることなく PoE ネットワークだけに接続する必要があります。

このガイドは、アクセス ポイントの一般的なレイアウトに習熟していただくことを目的に、ネットワーク内でのデバイスの配備方法、およびデバイスの設定方法について説明しています。お使いのアクセス ポイントには、このガイドで説明する以上の機能が装備されています。詳細については、アドミニストレーション ガイドを参照してください。アドミニストレーション ガイドへのリンクは、[関連情報](#)にあります。

パッケージの内容物

- ワイヤレスアクセスポイント
- マウント キット
- クイック スタート ガイド (本書)
- イーサネット ケーブル
- ポインタ カード (中国 RoHS)
- テクニカル サポートの連絡先
- EU 指令 1999/5/EC 準拠情報 (EU SKU のみ)

1 作業を開始する前に

インストールを開始する前に、次の機器とサービスが揃っていることを確認します。

- 次のブラウザのいずれかをサポートするコンピュータ:
 - Internet Explorer 9.0 以上
 - Chrome、Firefox、Safari のいずれかの最新バージョン
- ハードウェアの設置用工具
- PoE、PoE インジェクタ、外部電源アダプタのいずれかを装備する、1つ以上のイーサネット ネットワーク スイッチ

Cisco WAP581 Wireless-AC/N Premium Dual Radio Access Point with PoE Setup の 機能

前面パネル

デバイスの前面パネルは、シングル システム LED で構成されています。ライトの色とその意味の詳細については、[ハードウェアの設置の確認](#)を参照してください。

背面パネル

デバイスの背面パネルには、2 個の RJ-45 イーサネット ポートがあります。デバイスの背面に向かって、右側のポート（ラベル「ETH0/PD」）は 802.3at & 802.3af Power over Ethernet (PoE) を装備する 2.5GbE ポートで、デバイスに給電するために使用されます。左側のポート（ラベル「ETH1」）は、汎用ギガビット イーサネット LAN インターフェイスです。どちらも自動検知ギガビット イーサネット (802.3) ポートで、WAP デバイスをコンピュータ、ルータ、スイッチなどのネットワーク デバイスに接続するために使用されます。ギガビット接続には、カテゴリ 5e 以上のケーブルを使用することを強くお勧めします。

側面パネル

デバイスの側面パネルは、次のもので構成されています。

- Kensington ロック スロット: デバイスに接続されたケーブルを使用して、ユニットを物理的にしっかりと固定するのに役立ちます。
- リセット ボタン: リセット ボタンの詳細については、「[デバイスのリブートまたは工場出荷時設定へのリセット](#)」を参照してください。

デフォルト設定

パラメータ	デフォルト値
ユーザ名	cisco
パスワード	cisco
LAN IP アドレス	サーバによって割り当てられる DHCP アドレス
フォールバック LAN IP	192.168.1.245
サブネットワーク マスク	255.255.255.0

Cisco RV シリーズ ルータを使用している場合は、DHCP によって割り当てられるアドレスのデフォルトの範囲は 192.168.1.100 ~ 192.168.1.254 です。同じ LAN に接続しているデバイスには、この範囲内の IP アドレスが割り当てられます。

ネットワークに既存の DHCP サーバが存在せず、WAP581 が工場出荷時設定である場合は、WAP581 が WLAN ステーション対応の DHCP サーバを起動し、DHCP クライアントを停止します。DHCP サーバは、192.168.1.20 ~ 192.168.1.100 の IP アドレスを割り当てます。

3

Cisco WAP581 Wireless-AC/N Premium Dual Radio Access Point with PoE Setup のマウント

アクセス ポイントはデスクトップ上に設置するか、壁面または天井に取り付けることができます。

設置のヒント

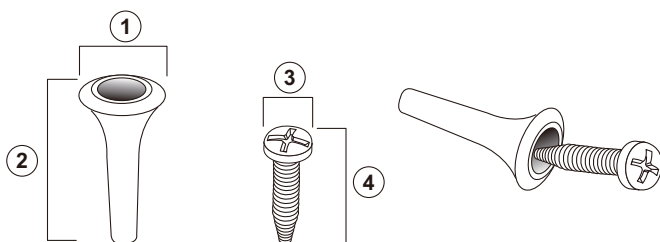
- **周囲温度:** アクセス ポイントの過熱防止のため、周囲温度が 40°C (104°F) を超える領域では稼働しないでください。
- **機械的負荷:** デバイスが滑ったり移動したりしないよう、水平で安定した状態でしっかりと固定させてください。

壁面および天井への取り付け

Cisco WAP581 は、壁面または天井に取り付けることができます。本デバイスには、マウント キットが同梱されています。キットは、デバイスを壁面または天井に取り付けるために設計されています。

Cisco WAP551 または WAP561 デバイス用の既存のドリル穴を再利用できるように、マウント ブラケットにはいくらかの柔軟性があります。設置担当者は、Cisco WAP551 または WAP561 を取り外して、Cisco WAP581 を取り付けることができます。デバイスを取り付けるには、4 個の留め具とネジが必要になります。

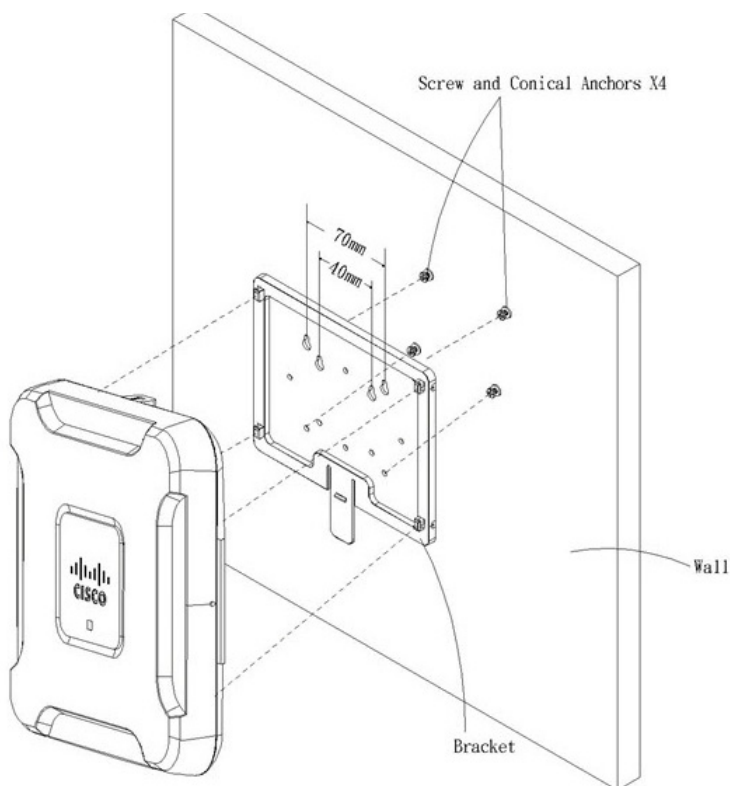
マウント キットのネジの寸法は次の通りです



196243

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1 7.8 ~ 8.3 mm
(0.31 ~
0.33 インチ) | 2 21.8 ~ 22.3 mm
(0.86 ~ 0.88 イ
ンチ) | 3 5.5 ~ 6.0 mm
(0.22 ~
0.24 インチ) | 4 17.5 ~ 18.2mm
(0.69 ~ 0.72 イ
ンチ) |
|---|--|---|---|

Cisco WAP581 を固い天井または壁面に取り付けるための詳細は、次の図に示されています。





警告

不安定な取り付けを行うと、デバイスの損傷やけがを招く恐れがあります。シスコは、壁面または天井への不安定な取り付けによって生じた損傷について、いかなる責任も負いません。

WAP デバイスを壁面または天井に取り付けるには、次の手順に従います。

- 手順 1** デバイスを取り付ける場所を決めます。表面が滑らかで、平らであり、乾燥しており、頑丈であることを確認します。
- 手順 2** Cisco WAP デバイス用に、表面上の 70 mm (2.75 インチ) 離れた位置に 2 つのパイロット穴を開けます。
- 手順 3** 各穴にネジを挿入し、表面とネジ山の根元との隙間は残しておきます。
- 手順 4** ブラケットの上部のスロットをネジ位置に合わせ、それに応じてネジを調整し、ネジがスロットにぴったり合うまでブラケットを下へスライドさせます。
- 手順 5** ブラケットをテンプレートとして使用し、下部のネジ用にさらに 2 つ穴を開けます。
- 手順 6** 下部の各穴にネジを挿入します。
- 手順 7** WAP デバイスをブラケットに沿ってスライドさせブラケット背面のブレイクアウト タブを通じてケーブルを配線します。

4

Cisco WAP581 Wireless-AC/N Premium Dual Radio Access Point with PoE Setup の接続

WiFi のデフォルトの SSID は「Cisco SB-Setup」、パスワードは「cisco123」で、WPA2-PSK AES に設定されています。このワイヤレスのデフォルト設定では、WiFi とイーサネットの間のトラフィックは許可されません。ユーザがセットアップ ウィザードを通じて、WiFi とイーサネットの間のトラフィックを再開する必要があります。

有線イーサネット接続を使用して、初期設定を行うこともできます。デバイスを有線ネットワークに接続するには、次の手順に従います。

手順 1 イーサネット ケーブルを PoE スイッチのイーサネット ポートに接続します。

手順 2 ネットワーク イーサネット ケーブルのもう一端を、ワイヤレス アクセス ポイントのイーサネット ポート (PoE) に接続します。

注 WAP581 は、2 個のイーサネット ポートをバンドルして、リンク アグリゲーション モードにします。2 個のイーサネット ポートが同時に接続される場合は、リンク パートナーもリンク アグリゲーションをサポートしている必要があります。

インストール後は、すべてのライトがアクティブになります。各スイッチの各種ライトの詳細については、「[ハードウェアの設置の確認](#)」を参照してください。

5 ハードウェアの設置の確認

ハードウェアの設置を確認するには、次のタスクを完了します。

- ・ ケーブル接続を確認します。
- ・ インジケータ ライトの状態を確認します

ラベル	アクティビティ	説明
Power	オフ	WAP581 には電源が投入されていません。
	点灯(緑)	Cisco WAP581 は正常です。ワイヤレス クライアントは接続されていません。
	点滅(緑)	デバイスは起動中です。
	点灯(青)	Cisco WAP581 は正常です。少なくとも 1 台のワイヤレス クライアントが接続されています。
	点滅(青)	Cisco WAP581 のファームウェアをアップグレード中です。
	点灯(赤)	Cisco WAP581 を両方のファームウェア イメージを使用してブートできません。
	緑と青の交互の点滅	このハードウェア用の新しいファームウェア アップデートが利用可能で、Cisco.com からダウンロードできることを示します。
Ethernet: 左側の緑	オフ	イーサネット リンクがありません。
	点灯(緑)	イーサネット リンクはアクティブです。
	点滅(緑)	データを送信中または受信中です。

ラベル	アクティビティ	説明
Ethernet No.0: 右側の緑	オフ	ギガビット イーサネット リンクはアクティブです。
	点灯(緑)	2.5 ギガビット イーサネット リンクはアクティブです。
Ethernet No.1: 右側の緑	オフ	ファスト イーサネット リンクはアクティブです。
	点灯(緑)	ギガビット イーサネット リンクはアクティブです。

注 問題を解決するためにアドバイスが必要な場合は、シスコ サポート コミュニティ (www.cisco.com/go/smallbizsupport) にアクセスしてください。

6 設定の開始

ワイヤレス アクセス ポイントを設定するために、イーサネットまたはワイヤレスのいずれかを使用できます。次の手順に従ってウィザードにアクセスし、その後、イーサネットを介してコンピュータから Web ベースの設定ユーティリティにアクセスします。

手順 1 イーサネット: ワイヤレス アクセス ポイントをコンピュータと同じネットワーク (IP サブネット) に接続します。アクセス ポイントの工場出荷時のデフォルトの IP アドレス設定は、DHCP です。DHCP サーバが稼働しており、到達可能であることを確認します。

DHCP サーバがない場合、またはトラブルシューティング情報を確認したい場合は、[間違った IP アドレス](#) を参照してください。

ワイヤレス: ワイヤレス SSID「CiscoSB-Setup」を検索し、パスワード「cisco123」を使用して、この SSID に接続します。

手順 2 ワイヤレス アクセス ポイントの IP アドレスを検索します。

- a. コンピュータと同じローカル ネットワーク セグメント内のすべてのサポートされるシスコ デバイスを自動的に検出できる Cisco FindIT Network Discovery Utility をはじめ、シスコのネットワーク ツールおよびサービスを使用して、ワイヤレス アクセス ポイントにアクセスし、それらを管理できます。各デバイスのスナップショットを表示することや、製品のコンフィギュレーション ユーティリティを起動して設定値を表示および指定することができます。詳細については、www.cisco.com/go/findit を参照してください。

- b. ワイヤレス アクセス ポイントは Bonjour 対応で、自身のサービスを自動的にブロードキャストし、他の Bonjour 対応のデバイスによってアドバタイズされたサービスをリッスンします。Bonjour プラグインが追加された Microsoft Internet Explorer、Apple Mac Safari ブラウザなどの Bonjour 対応のブラウザがある場合は、IP アドレスが不明でも、ローカル ネットワーク上のワイヤレス アクセス ポイントを検索できます。

Microsoft Internet Explorer ブラウザ対応の完全な Bonjour は、次の URL の Apple の Web サイトからダウンロードできます。

<http://www.apple.com/bonjour/>

- c. ルータまたは DHCP サーバにアクセスして、DHCP サーバによって割り当てられた IP アドレスを検索します。詳細については、DHCP サーバの取り扱い説明書を参照してください。

手順 3 Microsoft Internet Explorer や Mozilla Firefox などの Web ブラウザを起動します。

手順 4 アドレス フィールドにデフォルトの DHCP アドレスを入力し、**Enter** キーを押します。

手順 5 既定のユーザ名：**cisco** およびパスワード：**cisco** を [ユーザ名 (User Name)] および [パスワード (Password)] フィールドに入力します。

手順 6 [ログイン] をクリックします。ワイヤレス アクセス ポイント セットアップ ウィザードが表示されます。

手順 7 セットアップ ウィザードの手順に従って、WAP デバイスのインストールを完了します。初回インストール時には、セットアップ ウィザードを使用することを強くお勧めします。セットアップ ウィザードは Wi-Fi 無線をオンにするため、それによってワイヤレスで接続できるようになります。さらに詳細な設定については、アドミニストレーション ガイドを参照してください。アドミニストレーション ガイドへのリンクは、[関連情報](#)にあります。

これで完了です。ワイヤレス アクセス ポイントの使用を開始できます。

Smart Power Source

Smart Power Source は外部電源アダプタまたは PSE(802.3at および 802.3af)からの電源を検出するように設計されています。外部電源アダプタと PSE が同時に存在する場合は、外部電源アダプタが優先し、電源は外部電源アダプタから供給されます。外部電源アダプタと PSE(802.3at および 802.3af)のどちらから電源が供給されても、WAP581 は自動的に適切なモードで動作します。

Smart Power Source は、802.3af のみによる給電の場合でも確実に WAP581 が継続的に機能するようにし、次のように自動的に動作を調整します。

- 5G 無線無効化
- 2x2:2ss(空間ストリーム)モードの 2.4G 無線
- 2.5GbE(EHT0/PD)を 1GbE にダウングレード
- 1GbE(ETH1)無線無効化

インストール中にエラーが発生した場合は、以降で説明するトラブルシューティング手順を試してください。

トラブルシューティング

設定ユーティリティを表示できない場合は、**ping** を使用して、コンピュータがデバイスと通信する機能をテストできます。

Windows を実行するコンピュータで **ping** を使用するには、次の手順に従います。

手順 1 Cisco WAP581 に電源が投入され、ライトが適切なリンクを示していることを確認します。

手順 2 デバイスの IP アドレスを検索します。デバイスの IP アドレスを検索するためのさまざまな方法がありますが、この手順では Cisco FindIT を使用します。

- a. 以前に Cisco FindIT をダウンロードしている場合は、Internet Explorer を開き、Cisco FindIT を起動します。Cisco FindIT のダウンロード方法の詳細については、www.cisco.com/go/findit を参照してください。
- b. Cisco FindIT の表示内で、デバイス名にマウスカーソルを重ねます。デバイス IP アドレスが、他のデバイス情報と一緒に表示されます。

手順 3 [スタート] > [ファイル名を指定して実行] を選択し、**cmd** と入力して、コマンドウィンドウを開きます。

手順 4 コマンド ウィンドウプロンプトで ping とデバイス IP アドレスを入力
します。この例では、**192.0.2.10** に対して ping を実行しています。

成功した場合は、次のような応答があります。

```
Pinging 192.0.2.10 with 32 bytes of data:  
Reply from 192.0.2.10: bytes=32 time<1ms TTL=128
```

失敗した場合は、次のような応答があります。

```
Pinging 192.0.2.10 with 32 bytes of data:  
Request timed out.
```

インストールの失敗の考えられる原因

電源が投入されていない

- スイッチとコンピュータがオフになっている場合は電源を投入してください。
- PoE スイッチに電源が投入され、ライトがリンクの存在を示していることを確認します。[ハードウェアの設置の確認](#)を参照してください。
- ネットワーク上のデバイスが切り替え可能なコンセントに差し込まれていないことを確認します。

イーサネットの接続不良

- インジケータ ライトの状態を確認します。[ハードウェアの設置の確認](#)を参照してください。
- イーサネット ケーブルがデバイスにしっかりと確実に接続されていることを確認します。イーサネット ケーブルによって接続されるデバイスには、WAP デバイスの他、ルータ、スイッチ、コンピュータも含まれることがあります。
- 接続されたスイッチの自動ネゴシエーションが有効であることを確認します。アクセスポイントとスイッチは、同じネゴシエーションパラメータが設定されている必要があります。

不良なイメージ

新しいファームウェアのインストール後に、電源ライトが赤く点灯する場合は、システム サポートに連絡してください。[関連情報](#)を参照してください。

間違った IP アドレス

接続障害の最も可能性の高い原因は、間違った IP アドレスです。Web ブラウザが正しくない IP アドレスをポイントしているか、コンピュータにデバイスと同じサブネット内に存在しない IP アドレスが設定されている可能性があります。

工場出荷時のデフォルトの IP アドレス設定は DHCP であるため、DHCP サーバが稼働しており、到達可能であることを確認します。各デバイスが DHCP サーバから割り当てられた新しい IP アドレスを検出するために、デバイスを一旦切断して再接続することが必要な場合があります。その後、DHCP サーバに新しい IP アドレスをクエリできます。DHCP アドレスの検索方法の詳細については、**設定の開始の手順 2** を参照してください。

60 秒間経過してもワイヤレス アクセス ポイントが DHCP 応答を受信しない(ネットワーク上に DHCP サーバが存在しない)場合、アクセスポイントはデフォルトのスタティック IP アドレスである、192.168.1.245 およびデフォルト マスク 255.255.255.0 にフォールバックします。IP アドレスに到達するために、コンピュータが 192.168.1.xxx ネットワーク上にあることを確認します。

8 デバイスのリブートまたは工場出荷時設定へのリセット

デバイスをリブートするには、次の手順に従います。

- Cisco WAP581 は PoE 電源を使用します。PoE ポートのイーサネット接続を 3 秒間切断して再接続します。
または
- 電源を投入して、伸ばしたペーパー クリップでリセット ボタンを 3 秒未満、またはライトが消灯するまで押します。
 - すべてのライトが消灯したら、リセット ボタンを放します。
 - ライトが消灯したらすぐにリセット ボタンを放してください。そうでないと、デバイスは工場出荷時設定に復元され、それまでの設定が失われてしまいます。

デバイスを工場出荷時設定に復元するには、次の手順に従います。

電源を投入して、伸ばしたペーパー クリップでリセット ボタンを 10 秒以上押し続けます。システム ライトが消灯します。

システム ライトが点灯したら、リセット ボタンを放します。

サポート	
シスコ サポート コミュニティ	www.cisco.com/go/smallbizsupport
シスコ サポート およびリソース	www.cisco.com/go/smallbizhelp
サポート 連絡先電話番号	www.cisco.com/en/US/support/tsd_cisco_small_business_support_center_contacts.html
シスコ ファームウェアのダウンロード	www.cisco.com/go/smallbizfirmware リンクを選択して、シスコ製品のファームウェアをダウンロードできます。ログインは不要です。
シスコ オープン ソース リクエスト	www.cisco.com/go/smallbiz_opensource_request
Cisco Partner Central (パートナー ログインが必要です)	www.cisco.com/c/en/us/partners
製品マニュアル	
Cisco WAP581 アドミニストレーションガイド	www.cisco.com/go/500_wap_resources [英語]
シスコ電源アダプタ	www.cisco.com/go/wap_accessories

©2017 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は 2017 年 2 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。

お問い合わせ先



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>